

令和7年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 萩原 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和7年4月17日（木）に、「教科（国語、算数、理科）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月18日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

教科に関する調査（国語、算数、理科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問調査

児童質問調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校の6年生については、単学級ですので個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数、理科）の結果

本年度の結果	国語		算数		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.9	64	8.6	54	9.1	53
全国	9.4	67	9.3	58	9.7	57

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	「知識・技能」に関する問題の一部については、全国平均を上回ったが、全体では全国平均と比べて下回っている。
	よくできた問題	・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く問題
	努力が必要な問題	・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する問題

算数	全体的な傾向や特徴など	全国平均と比べて全体的に下回っている。
	よくできた問題	・示された資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算する問題
	努力が必要な問題	・数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉える問題

理科	全体的な傾向や特徴など	全国平均と比べて全体的に下回っている。
	よくできた問題	・氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解する問題
	努力が必要な問題	・ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる問題

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」という問いに対し、肯定的な回答をした児童が90%以上おり、全国平均を上回っている。学年が上がるにつれ、各学年で学級会の経験が積み重なっている成果だと考える。 ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という問いに対し、肯定的な回答をした児童が100%であった。全国平均を上回っている。小規模校ということもあるが、全職員で児童の様子を常に共有し、全児童との関りを大切にしている成果だと考える。 ・「将来の夢や目標を持っていますか」という問いに対し、肯定的な回答をした児童が90%以上であった。総合的な学習の時間での取組やキャリア教育の取組の積み重ねの成果であると考え。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・算数科において、解答時間が「やや足りなかった」「まったく足りなかった」と回答した児童が全国平均を上回っている。限られた時間の中で学習したことを生かして回答できるよう、国語科の要素でもある問題の読解力を含めた今回の課題を中心に、小学校で学んだことの総復習に取り組む。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・穴生中学校区9年間の活動プランにおいて、学びに関する目標を「自らの考えを広げたり深めたりできる子どもの育成」としている。小中で連携して発達段階に応じた到達目標を検討するとともに、児童が主体的に家庭学習に取り組むことができるよう、様々な家庭学習の方法を提示・啓発していく。